

麻しん風しん混合予防接種

対象者・接種期間／

第1期 1歳以上2歳未満

第2期 平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれの方

※第2期の接種期間は、令和3年3月31日までです。

接種回数／各期で1回ずつ

接種場所／県内協力医療機関

※接種期間を過ぎた場合、接種費用は自己負担となります。

※県内協力医療機関以外での接種は、助成額を上限に償還払いとなります。接種する10日前までに健康増進課へ連絡してください。

※接種の際には、事前に協力医療機関に連絡のうえ、必ず母子健康手帳と予診票を持参してください。

※転入や紛失などで予診票をお持ちでない方は、必ず母子健康手帳を持参し、土浦市保健センター窓口で交付の手続きをしてください。

【健康講座】おいしく目指そう！健康長寿

健康長寿はお口から！お口のケアと食事のポイントが学べる講座です。

日時／10月1日(木) 午後1時30分～2時30分

(受け付けは午後1時から)

場所／土浦市保健センター

内容／管理栄養士・歯科衛生士による講義

定員／20人(先着順)

持ち物／筆記用具

申込方法／電話で

ハチミツは1歳過ぎてから

1歳未満の赤ちゃんがハチミツを食べることによって乳児ボツリヌス症にかかることがあります。

乳児ボツリヌス症は、ボツリヌス菌が食品などを介して体内に入り、腸内で増えた菌が作る毒素によって発症します。症状は、便秘や筋力・哺乳力の低下などで、重症になると、死に至ることもあります。

生後3週から8か月の乳児にみられ、1歳になると腸内環境が整うため、発症しなくなります。

ボツリヌス菌は熱に強く、通常の加熱や調理では死滅しません。1歳未満の赤ちゃんにはハチミツやハチミツ入りの飲料やお菓子などの食品は与えないようにしましょう。

9月の献血

日時／9月27日(日)

10:00～11:45、13:00～16:00

場所／イオンモール土浦(専門店北入口)

健康教室

大腸がん検診について

土浦市医師会
稲葉智子(鶴町医院)

近年、大腸がんは男女ともに増えており、がんで亡くなる方のうち、男性では肺がん、胃がんに次いで第3位、女性では第1位です。

何らかの自覚症状を感じて病院を受診し発見された大腸がんは、約80%が進行がんです。一方で、検診で発見される大腸がんは約60%が早期がんで、非常に高い割合で命を救うことができます。また、発見が早いほど痛みや負担の少ない治療で治すことができます。しかし、早期の大腸がんはほとんど症状がありません。そのため、がん検診を受けていただくことがとても大切です。

検査と検診の違いは何でしょうか？検査は、自覚症状があるときに詳しく調べるもので精密に行われます。一方の検診は、基本的に自覚症状がない方に対して簡便な方法で行われ、ふるいにかけるものです。ここで異常が疑われれば、検査で詳しく調べるのです。わが国では、大腸がん検診として40歳以上のすべての方に対し免疫学的便潜血法を行っています。そして、

陽性の場合には、精密検査として大腸内視鏡が勧められています。しかし、便潜血法を受けていただいている方は全体の約40%、陽性結果で大腸内視鏡を受けていただいている方は、その約半数と低くなっています。便潜血法は、早期がんの30～50%で陰性となることがあります。また、大腸がん以外の病気でも陽性となることがあり、受診率が低くなっている一因と考えられます。ですが、年1回継続して受けていただくことで、約80%の大腸がんを発見することができます。さらに、前がん病変と考えられる大腸ポリープ(腺腫)が発見されることもあります。内視鏡によりそのようなポリープを治療することで、その後のリスクが減少するのです。

したがって、大腸がん検診をぜひ受けていただきたいと思います。さらに、ご家族の中に大腸がんの方がいらっしゃる場合や便通異常のある方は、担当の先生とご相談のうえ、大腸内視鏡を受けることをお勧めします。